

## 第4回奈良のお薬師さん大賞 受賞者

つもり さかえ

○津森 栄さん（57歳 大和高田市在住） 看護師

奈良県看護協会 専任教員

35年間看護師として地域の病院に勤務し、2009年から地域医療連携室の立ち上げに貢献し、開業医との連携、外来看護師と協働して退院から在宅医療に移行する患者の支援に尽力されました。また、地域医療連携室責任者としてレスパイト入院のシステムを構築するとともに、退院調整看護師として活動、県内で退院調整看護師の有志による勉強会を2009年から実施されています。以後慢性期機能病院で看護管理者として勤務、現在は奈良県看護協会認定看護管理者教育課程、退院支援看護師養成研修等を担当し、看護師リーダー育成、在宅へのシームレスな関わりに教育面から支援されています。また、在宅看護学に関する研究を進める「わい和いNARA在宅サポート研究会」に発足時から関わるなど、多職種連携について尽力されています。

わたなべ あきひこ

○渡辺 明彦さん（64歳 奈良市在住） 医師

奈良県西和医療センター副院長・総合医療センター外科統括医師

1980年から奈良県立医科大学をはじめとする県内病院で勤務し、胃がんや食道がんの外科を専門とし、手術術式の確立等に取り組まれてきました。1999年には奈良県立奈良病院外科部長、2010年には、奈良県立奈良病院集学的がん治療センター長に就任し、「地域がん診療拠点病院」としての活動を統括し、レベルの高いがん治療を提供するとともに、地域の医療機関との連携体制の整備、県民向けの公開講座の実施など幅広く活動されています。また、手術療法だけでなく、集学的がん治療の発展にも寄与されるとともに、がん治療への早期からの緩和ケアの導入も推進されています。